

3/13

みんなでチャレンジできる地域づくりを考えよう

地域協働まちづくりセミナー



講師に一般社団法人 対馬里山繋営塾の川口幹子代表理事、話題提供者に同教育事業部の舩原希実さん（松浦市出身）を迎え市役所市民ホールで同セミナーを開催しました。

「地域は自己実現の最適フィールド」をテーマに自らの地域おこし活動、起業、定住までのエピソードなど豊富な経験に基づく講話により、参加者がさまざまな立場から地域づくりのためにできることを考える貴重な機会となりました。

3/17

ようこそ！！鷹島へ 鷹島小 6 年生が版画で PR



鷹島小学校 6 年生 12 人が、鷹島を訪れた人に喜んでもらおうと、12 枚の版画をつなぎ合わせたアート作品を道の駅「鷹ら島」に贈呈しました。

この贈呈は、昨年 11 月に開催された鷹島小中学校運営協議会主催の「みらい会議」にて「鷹島を P R できるようなアート作品を作り、町内に展示する」というアイデアから、保護者や地域の人たちの協力により、実現したものです。

児童は、「卒業式の前に最高の思い出ができた」と話していました。

3/22

美しい農村景観を次世代へ

田代地域むら作り協議会（仮称）設立総会

同設立総会が田代地区営農研修センターで開催され、初代代表に岩木保徳さんを選出。

協議会では、農用地保全活動を中心に、地域内に存在する資源の活用、地域住民の生活支援に取り組む予定です。

岩木代表は「農家・非農家を問わず、地域の皆さんで色々な活動に取り組み、将来的には美しい農村景観と活力ある地域を次世代に繋げていきたい」と話しました。



4/4

戦没者の霊を慰める

青島地区戦没者合同慰霊祭



青島地区において、戦没者合同慰霊祭が行われました。

現在の平和と安寧の時代は、尊い命を捧げ礎となった英霊の皆さまの賜物です。

今年で戦後80年を迎え、戦争の悲惨さを体験された人が少なくなっていく中で、平和の大切さや戦争の悲惨さを風化させることなく語り継いでいくため、約30人の参列者が21人の戦没者へ哀悼の意をささげ、平和を願いました。

4/7

心に刻む、駅長の尽力

調川駅長故丸山七郎氏慰霊



今年は没後82年目を迎え、磨きなおされた石碑を前に一同追悼の誠をささげました。

旧国鉄松浦線の調川駅駅長であった故丸山七郎さんの慰霊祭が同駅近くにある称頌碑前で執り行われました。

丸山さんは戦時中の昭和18年4月5日に、軍の灯火管制に背きながらも調川駅で起きた貨物列車の脱線事故の復旧作業を完遂。その責任から、翌6日の早朝自ら出発合図を出した機関車に飛び込み亡くなったと伝えられています。

4/12

手に汗にぎる熱戦

第20回市長旗小学生バレーボール大会

同大会（松浦市小学生バレーボール連盟主催）が福島体育館で行われました。

今年は、市内小学校から女子チーム2チーム、男女混合チーム4チームが参加し、手に汗にぎる熱戦を繰り広げました。上位結果は、以下のとおりです。

【総合】①鷹島 ②絆

